

介護保険システム等標準化検討会 （第1回）

令和4年度上期検討の論点 （事務局案）

令和4年4月22日

事務局提出資料

1. 令和4年度上期に検討を要する主な論点について

○ 標準仕様書を1. 1版から2. 0版案に改定するための検討論点は以下のとおりである。

No	検討要素	検討の論点
1	政府方針	マイナポータルぴったりサービス(ワンストップサービス)による電子申請の対応
2		DV等支援対象者に係る抑止情報の活用
3		公的給付支給等口座の情報の利用
4		標準仕様書を標準化基準(基準省令)とする際の規定ぶり
5	制度改正等の動向	介護保険制度に係る制度見直し(3年に1度)
6		住基、地方税、マイナンバー、その他関連業務・システムに係る制度改正・仕様変更
7		介護保険事務に係る事務連絡等による影響
8	関連施策の状況	データ要件・連携要件の策定による影響
9		ガバメントクラウドの先行事業による影響
10		デジタル庁で定める検討方針策定による影響
11	他業務分野の検討状況	住基及び地方税の標準仕様書の改定による影響
12		第2グループの標準仕様書案の策定による影響
13	継続検討事項	令和3年度からの継続検討事項 546件の対応 (検討会・WT・ベンダ分科会での意見:18件、全国意見照会での意見:528件)
14	構成員意見	令和4年度上期検討会・WTでの構成員からの意見
15	全国照会意見	令和4年度上期の全国照会での意見

- 令和3年度上期全国照会の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(73件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は 28件あり、例えばAI-OCRやRPAの利用等、検討に時間を要するものについて継続検討事項としている。
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は 43件あり、データ要件にて定める項目やコード値、他システムへのデータ提供に関するものであったため、第2グループにおける検討内容を踏まえて検討することとしている。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	9	1	7	5	6	28	38.4%
データ・連携要件	8	28	2	1	4	43	58.9%
その他	2	0	0	0	0	2	2.7%
合計	19	29	9	6	10	73	100%

- 令和3年度下期全国照会(帳票要件)の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(316件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は310件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。
 例1) 圧着ハガキや連続帳票等の用紙サイズでの帳票レイアウトを認めてほしいとの意見
 例2) 介護保険ワンストップサービスで示されているプリセットされた申請様式と標準仕様書の帳票レイアウトを統一してほしいとの意見
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は3件あり、全て、住民税システムとの連携要件や住民税システムとの用語統一に関するものであるため、データ要件・連携要件の内容を踏まえて検討することとしている。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	43	17	39	31	180	310	98.0%
データ・連携要件	3	0	0	0	0	3	1.0%
その他	3	0	0	0	0	3	1.0%
合計	49	17	39	31	180	316	100%

- 令和3年度下期全国照会(機能要件等)の意見のうち、令和4年度への継続検討事項(139件)は、以下のとおりである。
- 機能要件・帳票要件に関する継続検討事項は101件あり、WTやベンダ分科会での検討を要するものであった。
 例1)総合事業、認定審査会に関する機能を標準化範囲内にしてほしいとの意見
 例2)AI-OCRやRPAの利用促進の観点から、バーコードや二次元コードを利用できるようにしてほしいとの意見
- データ要件・連携要件に関する継続検討事項は37件あり、住民記録情報との連携項目や独自施策項目の追加に関するものであるため、データ要件・連携要件の内容を踏まえて検討することとしている。
- その他に関する継続検討事項も1件あり、標準仕様の改定に関するご意見で時間を要するものであった。

対応方針	介護保険共通 ・統計報告関連	資格認定 関連	受給者関連	給付関連	保険料関連	合計	
機能・帳票要件	49	19	4	6	23	101	72.7%
データ・連携要件	3	28	2	0	4	37	26.6%
その他	1	0	0	0	0	1	0.7%
合計	53	47	6	6	27	139	100%